

注3

大学番号：私225

[平成26年度設置]

計画の区分：研究科の専攻に係る課程の変更

注1

認可

昭和音楽大学大学院 音楽研究科
音楽芸術専攻（博士後期課程）

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東成学園
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部企画・IR推進室

職名・氏名 カカリチョウ 係長・ モリカワ 森川 ヨウイチロウ 陽一郎

電話番号 044-953-9836

（夜間） 044-953-9836

F A X 044-953-1311

e-mail morikawa@tosei-showa-
music.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

【目次】

1	調査対象大学等の概要等	1~4
2	授業科目の概要	5~7
3	施設・設備の整備状況, 経費	8
4	既設大学等の状況	9
5	教員組織の状況	10~13
6	留意事項に対する履行状況等	14
7	その他全般的事項	15~21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東成学園

(2) 大学名

昭和音楽大学大学院

(3) 大学の位置

〒215-8558

神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

(〒215-0004)

(神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シモヤカワ キョウスケ) 下八川 共祐 (昭和55年3月)		
学長	(フタミ シュウジ) 二見 修次 (平成21年4月)		
研究科長	(ネキ アキラ) 根木 昭 (平成24年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
音楽研究科 音楽芸術専攻 (博士後期課程) 博士(音楽) 博士(芸術) 博士(音楽療法)	3年	4人	12人	基礎となる学部等 音楽学部(作曲学科、器楽学科、 声乐学科、音楽芸術運営学科) 音楽研究科(音楽芸術表現専攻、 音楽芸術運営専攻)

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	4人 () []	0人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.25倍	
志願者数	7 (5) []	— (—) []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []		
受験者数	7 (5) []	— (—) []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []		
合格者数	5 (4) []	— (—) []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []		
B 入学者数	5 (4) []	— (—) []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []		
入学定員超過率 B/A	1.25							

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 5	[-] -	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	
3年次			[]	[]	[]	[]	
計	[-] 5	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	5人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
			平成27年度	-人	-人		
			平成28年度	-人	-人		
平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		%
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
合計	5人	0人					0%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<音楽研究科 音楽芸術専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	(博士研究指導)	1~3通	—			12	1					
	博士論文演習①	1通	2			5	1					
	博士論文演習②	2通	2			5	1					
選択必修科目	音楽表現領域 博士特別表現研究①	1通		2		7						
	博士特別表現研究②	2通		2		7						
	音楽運営領域 博士特別運営研究①	未開講 1~3通		2		3						履修該当者がいなかったため
	博士特別運営研究②	1~3通		2		3						
選択科目	研究領域共通 音楽と学術研究特講	1前		2		7						
	博士西洋音楽史特講Ⅰ	1前		2			1					兼1
	博士西洋音楽史特講Ⅱ	2前		2			1					兼1
	博士音楽美学特講Ⅰ	1後		2		1						
	博士音楽美学特講Ⅱ	2後		2		1						
	博士外国語原典研究特講Ⅰ	1前		2		2	1					兼1
	博士外国語原典研究特講Ⅱ	2前		2		2	1					兼1
	博士楽曲研究特講Ⅰ	1後		2		1	1					
	博士楽曲研究特講Ⅱ	2後		2		1	1					
	博士舞台芸術政策特講Ⅰ	未開講 1前		2		1						履修希望者がいなかったため
	博士舞台芸術政策特講Ⅱ	2前		2		1						
	博士舞台芸術マネジメント特講Ⅰ	未開講 1後		2		1						履修希望者がいなかったため
	博士舞台芸術マネジメント特講Ⅱ	2後		2		1						
	博士音楽療法特講Ⅰ	未開講 1後		2			1					履修希望者がいなかったため
	博士音楽療法特講Ⅱ	2前		2								兼1
	博士研究方法論特講	未開講 1前		2					1			履修希望者がいなかったため

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 20	科目 0	科目 22	科目 2	科目 20	科目 0	科目 22	
				[-]	[-]	[-]	[-]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部と共用(借用面積:848.46㎡<期間H12~H32>含)			
	校舎敷地	0㎡	22,742.00㎡	0㎡	22,742.00㎡				
	運動場用地	0㎡	623.52㎡	0㎡	623.52㎡				
	小 計	0㎡	23,365.52㎡	0㎡	23,365.52㎡				
	そ の 他	0㎡	1,162.96㎡	0㎡	1,162.96㎡				
	合 計	0㎡	24,528.48㎡	0㎡	24,528.48㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	専用は昭和音楽大学大学院全体				
	284.45㎡ (284.45㎡)	29,436.03㎡ (29,436.03㎡)	0㎡ (0㎡)	29,720.48㎡ (29,720.48㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	昭和音楽大学大学院・昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部全体			
	37室	125室	169室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	音楽研究科音楽芸術専攻(博士後期課程)		18 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	昭和音楽大学大学院・昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部全体 図書は蔵書見直しによる除籍のため減少、視聴覚資料は寄贈資料が多かったため増加、機器・器具は「個人キャレール」設置により減少(26)	
	音楽研究科 音楽芸術専攻 (博士後期課程)	122,576 [59,072] (112,308[56,207]) (+16,776[56,672])	53 [35] (53 [35])	2 [2] (2 [2])	46,133 (43,637) (-42,133)	149 (87) (-149)	0 (0)		
	計	122,576 [59,072] (112,308[56,207]) (+16,776[56,672])	53 [35] (53 [35])	2 [2] (2 [2])	46,133 (43,637) (-42,133)	149 (87) (-149)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			学習環境を充実するため増加(26)		
	1,597.27㎡			286 250 102,719 96,614					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	-㎡	該 当 な し							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	昭和音楽大学大学院・昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部全体 図書購入費を学生数に見合った水準に抑制したため減額(26)
		教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	18,949千円 21,857千円	20,131千円 22,357千円	23,357千円	
	共同研究費等	1,882千円	1,882千円	設備購入費	100,971千円	43,701千円	43,701千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,550千円	1,350千円	1,350千円	-千円	-千円	-千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、事業収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	昭和音楽大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院音楽研究科									
音楽芸術専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士(音楽) 博士(芸術) 博士(音楽療法)	1.25	平成26年度	神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1	
音楽芸術表現専攻 (修士課程)	2	18	—	36	修士(音楽)	1.36	平成23年度	同上	
音楽芸術運営専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士(芸術)	0.49	平成9年度	同上	
音楽学部									
作曲学科	4	25	—	100	学士(音楽)	0.69	昭和59年度	神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1	
器楽学科	4	100	3年次 20	440	学士(音楽)	1.51	昭和59年度	同上	
声楽学科	4	50	3年次 15	230	学士(音楽)	0.75	昭和59年度	同上	
音楽芸術運営学科	4	100	3年次 5	410	学士(芸術)	0.97	平成6年度	同上	
大学の名称	昭和音楽大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
音楽科	2	140	—	280	短期大学士 (音楽) 短期大学士 (芸術)	0.71	昭和44年度	神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A/C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学、短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位)、

大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<音楽研究科 音楽芸術専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ネキ アキラ 根木 昭 (71)	平成26年4月	(博士研究指導) 博士論文演習① 博士論文演習② 博士特別運営研究① 博士特別運営研究② 博士舞台芸術政策特講 I 博士舞台芸術政策特講 II						
専	教授	ナオノ タスク 直野 資 (68)	平成26年4月	(博士研究指導) 博士特別表現研究① 博士特別表現研究②						
専	教授	マツォーラ ダンテ MAZZOLA DANTE (68)	平成26年4月	(博士研究指導) 博士特別表現研究① 博士特別表現研究② 音楽と学術研究特講						
専	教授	エグチ フミコ 江口 文子 (69)	平成26年4月	(博士研究指導) 博士特別表現研究① 博士特別表現研究② 音楽と学術研究特講						
専	教授	オオノ ミチコ 多 美智子 (カスヤ ミチコ) (粕谷 美智子) (70)	平成26年4月	(博士研究指導) 博士特別表現研究① 博士特別表現研究②						
専	教授	プーレ ジェラルド ジョルジュ POULET GERARD GEORGES (75)	平成26年4月	(博士研究指導) 博士特別表現研究① 博士特別表現研究②						
専	教授	アリタ マサヒロ 有田 正廣 (64)	平成26年4月	(博士研究指導) 博士特別表現研究① 博士特別表現研究② 音楽と学術研究特講						
専	教授	ヤナイ カズミ 矢内 和三 (67)	平成26年4月	(博士研究指導) 博士特別表現研究① 博士特別表現研究② 音楽と学術研究特講						
専	教授	アキタ カズヒサ 秋田 和久 (64)	平成26年4月	博士楽曲研究特講 I 博士楽曲研究特講 II						
専	教授	イシダ アサコ 石田 麻子 (48)	平成26年4月	(博士研究指導) 博士論文演習① 博士論文演習② 博士特別運営研究① 博士特別運営研究② 音楽と学術研究特講 博士舞台芸術マネジメント特講 I 博士舞台芸術マネジメント特講 II						
専	教授	ハネイシ エリ 羽石 英里 (56)	平成26年4月	(博士研究指導) 博士論文演習① 博士論文演習② 博士特別運営研究① 博士特別運営研究② 音楽と学術研究特講						
専	教授	キシモト ヒロコ 岸本 宏子 (70)	平成26年4月	(博士研究指導) 博士論文演習① 博士論文演習②						

専	教授	アリタ サカエ 有田 栄 (49)	平成26年4月	(博士研究指導) 博士論文演習① 博士論文演習② 音楽と学術研究特講 博士音楽美学特講Ⅰ 博士音楽美学特講Ⅱ 博士外国語原典研究特講Ⅰ 博士外国語原典研究特講Ⅱ					
専	教授	オバタ ツネオ 小畑 恒夫 (62)	平成26年4月	博士外国語原典研究特講Ⅰ 博士外国語原典研究特講Ⅱ					
専	准教授	トヨズミ タツジ 豊住 竜志 (48)	平成26年4月	博士楽曲研究特講Ⅰ 博士楽曲研究特講Ⅱ					
専	准教授	イトウ ケイコ 伊藤 啓子 (57)	平成26年4月	博士音楽療法特講Ⅰ					
専	准教授	イシカワ リョウコ 石川 亮子 (スズキ リョウコ) (鈴木 亮子) (41)	平成26年4月	(博士研究指導) 博士論文演習① 博士論文演習② 博士西洋音楽史特講Ⅰ 博士西洋音楽史特講Ⅱ 博士外国語原典研究特講Ⅰ 博士外国語原典研究特講Ⅱ					
専	講師	サカイ ケンタロウ 酒井 健太郎 (39)	平成26年4月	博士研究方法論特講					
兼任	講師	マツイ トシカズ 松井 紀和 (84)	平成26年4月	博士音楽療法特講Ⅱ					
兼任	講師	サカマキ カズコ 酒巻 和子 (62)	平成26年4月	博士西洋音楽史特講Ⅰ 博士西洋音楽史特講Ⅱ					
兼任	講師	ヤスカワ トモコ 安川 智子 (タクマ トモコ) (田熊 智子) (37)	平成26年4月	博士外国語原典研究特講Ⅰ 博士外国語原典研究特講Ⅱ					

(注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導 補助教員	計	研究指導教員	研究指導 補助教員	計	定年規定の定め る定年年齢	定年を延長 している教員数
9	9	18	9	9	18	教授65 准教授62 講師他60	8
(9)	(9)	(18)	(9)	(9)	(18)	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1		該当なし	
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (26年4月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実行すること。	<p>完成年度以降、教育水準を維持しつつ、博士研究指導を担当するに相応しい教員の採用を進めるため、定年に関する規程を踏まえ、適切な年齢構成となるよう以下の点を重視していく。</p> <p>1. 博士号を持ち、研究業績のある者、指導実績のある者を採用することにより、教育水準の維持・向上をはかる。</p> <p>2. 研究指導補助教員を含む中堅・若手の教員の一層の研究時間の確保、研究発表を行う機会の創出など環境面の整備に取り組むことにより、中堅・若手教員の人材養成をはかる。</p> <p>研究活動を推進するため、科学研究費補助金・外部研究費等の獲得や教員個人の研究活動を評価する制度は既に定め運用している。</p> <p>本件に関する留意事項は大学院研究科委員会にも報告され、教員組織編成の将来構想などを検討していくため審議を開始した。(平成26年度)</p>	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<音楽研究科 音楽芸術専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
特になし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 昭和音楽大学大学院音楽研究科FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）※平成25年度実績 5回実施（委員11名に対し、各回平均9.40名が参加）</p> <p>c 委員会の審議事項等 ※平成25年度実績</p> <p>第1回音楽研究科FD委員会 1. 平成25年度大学院「学生による授業評価アンケート」について 2. 第2回大学院FD全体研修会について</p> <p>第2回音楽研究科FD委員会 1. 平成24年度大学院「学生による授業評価アンケート」結果について 2. 第2回大学院FD全体研修会について</p> <p>第3回音楽研究科FD委員会 1. 平成25年度 大学院FD全体研修会 参加報告書内容に関する件 2. 平成25年度前期授業評価アンケート結果について 3. 平成25年度FD報告書に関する件</p> <p>第4回音楽研究科FD委員会 1. 平成26年度第1回大学院FD全体研修会について</p> <p>第5回音楽研究科FD委員会 1. 平成26年度第1回大学院FD全体研修会について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>① 大学院音楽研究科FD全体研修会の企画及び運営 ② 学生による授業評価アンケートの企画及び運営 ③ FD報告書の作成</p> <p>b 実施方法</p> <p>① 大学院音楽研究科FD全体研修会は、大学院を担当する教員（非常勤講師含む）が一同に会して行う全体研修会で、毎年度2回開催している。 平成25年度：4月3日、9月4日 平成26年度：4月2日、9月3日（予定）</p> <p>② 学生による授業評価アンケートは、大学院に関する科目を前期と後期でそれぞれ行っている。</p> <p>③ FD報告書は、大学のFD委員会と合同で作成しており、大学院のFD研修会の報告書と授業評価アンケートの考察を執筆している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>① 大学院音楽研究科FD全体研修会 ・平成25年度第1回大学院音楽研究科FD全体研修会 日時：平成25年4月3日（水）16:50～18:30（参加者：81名） テーマ：「大学院の現状と今後の展望」</p>
--

目的：修士課程の新カリキュラムが平成24年度に完成年度を迎える。現状を検証するとともに、今後設置予定の新課程を視野に入れ、大学院として取り組むべき内容を模索する。

- ・平成25年度 第2回大学院音楽研究科FD全体研修会（参加者：83名）

日時：平成25年9月4日（水）10:00～13:00

テーマ：大学院音楽研究科の将来像と特色を探る

目的：大学院の現状を検証し、大学院としての特色を探り、今後の取り組みに活かす。

- ・平成26年度 第1回大学院音楽研究科FD全体研修会（参加者：98名）

日時：平成26年4月2日（水）16:50～18:30

テーマ：「博士後期課程の開設と今後の展望」

目的：平成26年度より、大学院音楽研究科に博士後期課程（音楽芸術専攻）が開設される。博士後期課程は、修士課程の「音楽芸術表現専攻」「音楽芸術運営専攻」をより高次の理念で統合・発展させたもので、「音楽芸術表現領域」と「音楽芸術運営領域」の二領域から成る。博士後期課程の設置により、本学は高度の研究者ないし専門音楽人の養成と研究大学としての責任を負うことになった。このような意義を有する博士後期課程の目的やカリキュラム、既設の修士課程との関係、関係部会の関わりの在り方等を理解し、本学全体の中における博士後期課程の位置づけを確認し、今後の教育・研究ないし授業の運営に活かす。

② 学生による授業評価アンケート

- ・平成25年度前期は、前期に開講している講義科目のうち、匿名性を確保するため10名以上の履修者のいる6科目を対象に実施し、アンケート全体の満足度は98.9%であった。
- ・平成25年度後期は、通年科目及び後期に開講している講義科目のうち、匿名性を確保するため10名以上の履修者のいる9科目を対象に実施し、アンケート全体の満足度は90.4%であった。
- ・平成25年度後期は、個人レッスンの実技科目として開講する2科目を対象に実施し、アンケート全体の満足度は97.6%であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・大学院音楽研究科FD委員会は、参加した教員からの満足は得られている。今後は、博士後期課程の運用を踏まえ、具体的な課題などを提示していくことと、教員と在学院生の意見交換の場としてFD研修会の在り方を模索していく。
- ・学生による授業評価アンケートの結果は、FD委員会で検討するだけでなく、大学院FD全体研修会でも報告することで、教員にも理解を得られ定着してきている。今後はアンケート結果を授業改善につなげるためのPDCAサイクルを検討していく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施：有、実施時期 前期科目：平成25年6月25日、後期・通年科目：平成25年12月3日（平成25年度実績）

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、音楽研究科FD委員会で検討のうえ、図書館で公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - ・別紙に記載
- ② 自己点検・評価報告書
 - ・平成26年度自己点検評価書
 - a 公表（予定）時期
 - ・平成27年6月に公表を予定
 - b 公表方法
 - ・自己点検評価書を刊行し、本学の専任教員に配付するほか、大学ウェブサイト上に公開予定
 - ・（平成27年6月を予定）
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成27年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
 - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成26年 8月)